



あのときの常呂・写真館

VOL 66

(1968年)

昭和43年12月18日

老人いこいの家「長寿庵」完成

▶「長寿庵」は、高齢者のレクリエーション、いこいの場、老人クラブの拠点として、現常呂町公民館裏にあった旧登記所跡地に建てられ、昭和43年12月18日に完成しました。昭和44年1月号の「広報ところ」では、完成した長寿庵の施設内容を次のように紹介しています。「…面積115㎡、木造モルタル平屋建てながら老人がのんびりくつろげる施設にしようと32畳敷きの大広間に床の間を設け、家庭的な雰囲気をかもしだし、いつでも入浴できるようにと温水ボイラー付きのタイル張り浴槽のほか。管理人室などが整備されています」。また、長寿庵の完成とともに、市街地の老人クラブ「長生会」が活動拠点として利用していました。



*完成当時の長寿庵、左に見えるのが現常呂町公民館

▶この長寿庵は、老人クラブ「長生会」の会員が増え、手狭になったことから昭和50年に増改築（月日不明）され、面積が88㎡増えました。増改築の詳細は不明ですが、増改築後の写真を見ると、浴槽と管理人室がなくなり、集会するための部屋やトイレなどの充実を図ったようです。



昭和49年5月
オホーツク



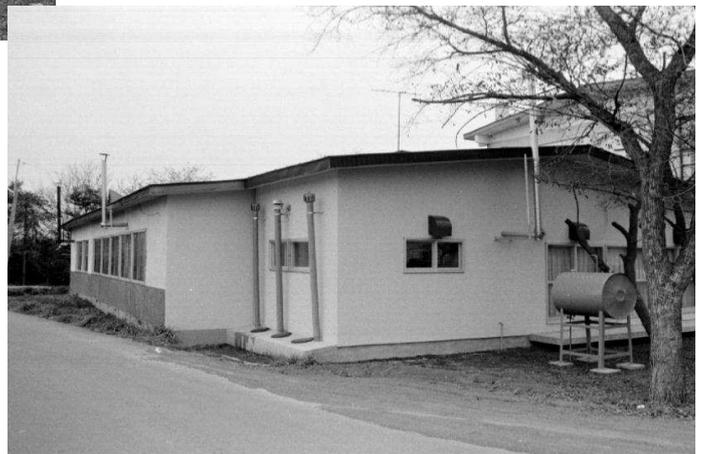
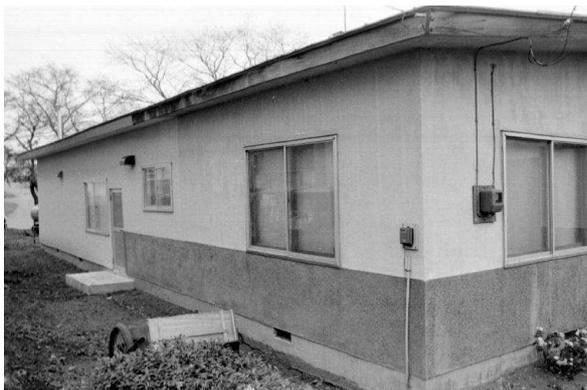
上：長寿庵の正面（玄関横が増築部分）

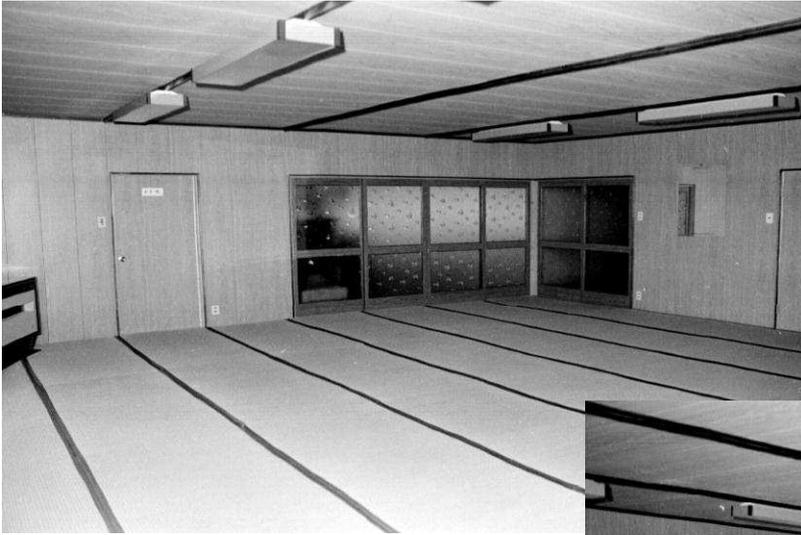
左：北側の窓

左下：公民館の裏口から見た長寿庵

下：写真左手にある常呂川の方から見た長寿庵

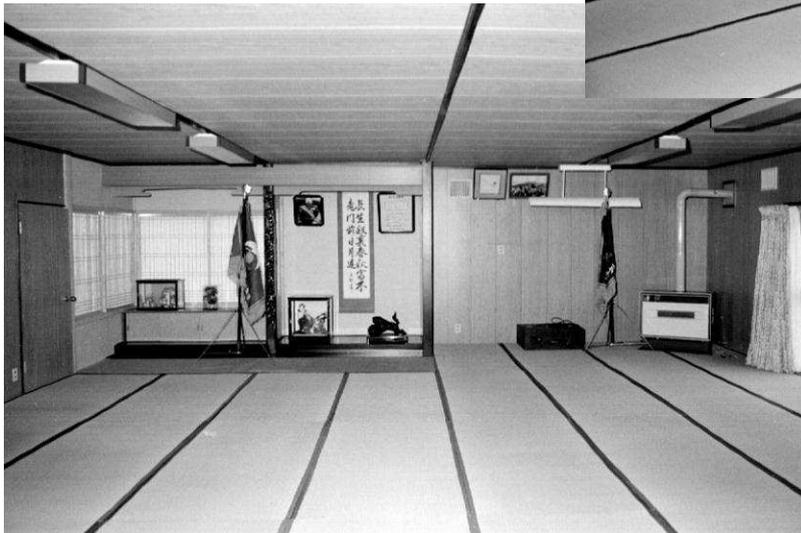
*堤防の高さが今より低く、長寿庵の玄関と同じ高さでした





* 3枚の写真は、長寿庵メインの大広間です。

*この大広間では、老人クラブ長生会の例会の他、昭和49年開設の高齢者大学「オホーツク大学」にも利用されていました。



*昭和49年5月、オホーツク大学第1回講義「日本史」や昭和54年3月27日、オホーツク大学第1回卒業式の会場として使われた記録があります。

*この長寿庵は、平成5年に取り壊され、翌平成6年11月16日に現在の「老人いこいの家」(天龍寺の北側、旧バス車庫跡)が完成します。



▶現在、公民館と常楽寺の間は駐車場になっていますが、下の写真のように、かつては長寿庵につらなる道路でした。今のようになったのは昭和51年で、同年12月号の「広報ところ」で、駐車場の整備が終わり、一般利用されていたことを伝えています。



上：公民館前の道路から長寿庵の方を見て
下：長寿庵・常呂川の堤防の方から見て





*この2枚の写真は、公民館横の駐車場を整備しているときのもの。

*写真に写っている木は、現在、一番手前と公民館裏の2本が枝を短くして残っています。